

<閉会挨拶>

京都大学経営管理大学院 御手洗潤 特定教授

御手洗（京都大学）：閉会にあたり、京都大学経営管理大学院長に代って一言挨拶させていただきます。本日は予想を大きく上回る方にお申し込みをいただきました。エリアマネジメントの北海道における盛り上がりを実感しています。本日までご参加をいただいた皆様、ロジスティックを一手に引き受けていただいた札幌駅前通りまちづくり会社の皆様、そしてご講演又はパネルディスカッションをいただいた皆様に、感謝を申し上げます。小林英嗣先生の基調講演では、エリアマネジメント先進都市札幌で、ビジョンを描いて戦略的にエリアマネジメントの推進を図っていることを学び、とても参考になりました。小林重敬先生のクロージング講演では、エリアマネジメントの推進のために、産官学が様々な取り組みを行いつつあり、今後さらに進展して行くであろうことが示されました。そして、ふたつのパネルディスカッションでは、北海道と全国の様々な団体が登壇して、公共空間の利活用等、現在のエリアマネジメントが抱える様々な課題や今後の展望について、議論が交わされました。本日の成果で私が特に注目したいのは、連携・ネットワークです。エリアマネジメントの普及促進や深化のためには、お互いが学び合いそれぞれの活動を発展させていくとともに、エリアマネジメント団体が協調して認知度向上や提案をするためのネットワーク・連携が重要と考えています。本シンポジウムで、道内と全国のエリアマネジメント団体が集まったことはたいへん意義深いと思います。本シンポジウムは、(仮称) 全国エリアマネジメントネットワーク設立準備委員会が共催しています。まだ正式に立ち上がったわけではありませんが、この組織は、名前の通り、全国のエリアマネジメント団体のネットワーク組織の設立準備をする組織です。この組織が無事発足し、さらに全国のエリアマネジメント団体のネットワーク組織に発展し、本日もお越しの皆様の情報共有・学びあいの場になったり、連携や普及を促進したり、政策提案を行っていくようになることを期待しています。また、本シンポジウムは、「京都大学経営管理大学院光亜興産官民協働まちづくり実践講座 エリアマネジメントリレーシンポジウム」の一環でもあります。当大学院においても、「エリアマネジメントを広げる・深める」をキーワードに、各地でこのようなエリアマネジメントの認知度向上・普及と学びあい・連携促進のためのシンポジウムを展開していきたいと考えています。「全国エリアマネジメントネットワーク」と「エリアマネジメントリレーシンポジウム」の二つの関連で、皆様とお会いできることを願っております。

最後に、改めて、本日の参加者、講演者、事務局の皆様に感謝を申し上げます。そして、エリアマネジメント活動を通じて、皆様の地域が活性化し、光り輝くことを切に願っています。